



吉岡和江
教育福祉常任委員



高野洋一
副議長
総務常任委員



武野裕子
建設常任委員

市役所本庁舎移転

「位置条例」を否決！

～本庁舎等整備計画の見直しを～

先の12月定例会において、移転に必要な「鎌倉市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例」が提案され、否決となりました。（賛否は、裏面の表を参照ください）

市役所移転には、市長の権限による移転計画だけでなく、議会の議決による位置条例と関連予算の議決が不可欠です。これで直ちに移転計画がストップとなるわけではありませんが、現在の移転計画を市に見直させるうえで重要な結果となりました。

交通対策など改善見通しなし

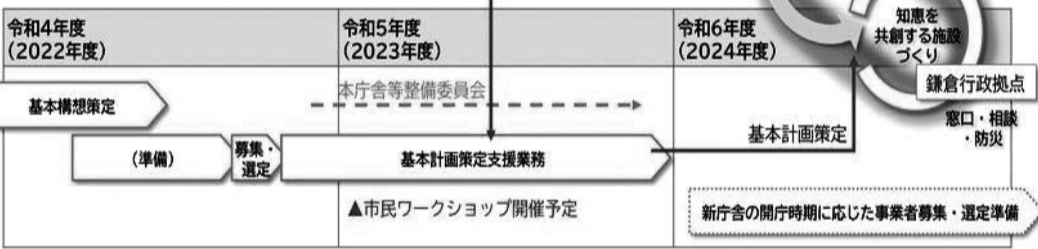
現在の移転計画は、現在地の周辺に集積している官公署等が移転先の深沢事業用地に整備される見通しもなく、現在地からの交通事情が具体的に改善される見通しもありません。事実上、「本庁舎だけを移転させればよい」という水準で、深沢地域の新たな中心市街地という「まちづくりの視点」が伴っていない不十分な移転計画と言わざるを得ません。

新庁舎の建設費用も、現在の170億円で収まる保証はどこにもなく、むしろ増加する可

■新庁舎等の整備のスケジュール



■市庁舎現在地の利活用のスケジュール



計画の見直しが必要。能性の方が高いでしょう。どうしても必要。そうした状況で今後、設計段階から建設へと向かえば、もう事業を止めることはできません。そのことから、現在の整備スケジュール（左の図を参照）を含め、移転計画の見直し

が必要ですが、今後、鎌倉と深沢の二拠点による「分散化方式」など、市民の皆さんのご意見を伺いながら、見直しを市に強く求めていきます。〈地方自治法〉第4条2項 前項の事務所の位置を定め又はこれを変更するに当っては、住民の利用に最も便利であるように、交通の事情、他の官公署との関係等について適当な考慮を払わなければならない。

山崎小学校のトイレ 陳情が採択

臭くて我慢？！

山崎小学校の保護者や町内会からトイレ改修の陳情が議会に出され、全会一致で採択されました。和式トイレが苦手な児童が、少ない洋式トイレ（洋式率女子トイレ29%、男子53・8%）に並んでいる、また、臭いがきつく我慢してしまいう等深刻な実態が明らかにされました。山崎小のトイレは1996年までに一部洋式トイレ等の改修をしましたが、その後は改修は行われていません。鎌倉の公立小中学校25校中、築50年以上が9校、40年以上が10校、30年以上が4校と老朽化しており、「鎌倉市学校整備計画検討協議会」では老朽化した公立学校の施設整備について23年度中に計画策定予定です。そのためトイレ独自の改修計画はありません。市は、トイレの抜本的改修はできないが、掃除の回数を増やしたり、便器を洋式に変えたりなどの改善はしていきたいとしています。待ったなしの課題。早急な改善を求めました。

子どもの医療費無料化

神奈川県が年齢の引き上げに

子どもの医療費助成を担う市町村への財政支援について、神奈川県は今年4月から通院費の補助対象の年齢を現在の6歳までから、12歳までに引き上げる方針を示しました。鎌倉市は市民の強い要望と長い運動を経て、202

18歳までの医療費無料化を！

2年から中学校卒業まで所得制限なしで実施しています。隣の逗子市は県内の市として初めて18歳まで所得制限なしで今年4月からの実施を決めました。子育て支援の立場から鎌倉市も一日も早く18歳までの医療費無料化を実施するよう求めました。

12月定例会の各議員の一般質問は次の内容で行いました。

健康検査の 新設改善について

吉岡議員

市は、加齢性難聴に必要ではないかとただし早く気づき適切な対処を行いました。市は、購入後合行うことは、生活の質のわかない等の理由で使用し向上や認知症予防、介護 なくなる課題があるが、予防に有効としています。現時点では市独自の助成聴こえ健診の実施や、高 は難しいと答弁。吉岡議員は、県聴覚障

害者福祉センターでは聴力検査、補聴器の調整、聴聴を無料でを行い、効果があるか、補聴器があつていないか等確認をし、補聴器購入の指導している例を挙げ、市の積極的対応を求めました。また、中途失明の原因の第1位は緑内障ですが、緑内障は自覚症状がほとんどなく、早期発見が難しい問題で市は、緑内障の早期発見のためには眼底検査、眼圧検査は有効だが、国保特定健診、後期高齢者健診で全員に実施するのは健診機関の確保など課題があるので難しいとの見解。吉岡議員は歯周病検診のように40歳50歳60歳等、節目検診

の検討を求めました。(その他の質問) ●健康診査の新設、改善 ●若年層の健診促進、改善 ●保健医療福祉センター ●高齢者交通優待制度の復活充実について ●深沢モノレール駅のリニア化



運用の見直しを提案

設置等に関する条例

高野議員

テクノロジーの進歩と人間の健康や環境への調和は、日本において重要課題の一つです。5Gや事業者の新規参入により、昨年の鎌倉市内における携帯基地局計画数は230カ所に及び、地域住民から不安の声が顕在化しています。鎌倉市では12年前に「鎌倉市携帯電話等中継基地局の設置等に関する条例」を制定しています。この条例は、携帯電話等の中継基地局の設置に伴う市民と事業

同条例施行規則第5条により規定された説明会の開催について、自治町内会長が不要と判断し、事業者から市に開催しない旨の届出が提出された後、住民から説明会の開催が要望され、条例に定めのない説明会が開催されるケースが複数の地域で生じているからです。そこで、自治町内会長に負担をかける形で説明会が開催できるように規則の追加・見直しを提案し、改善の検討を求めたものです。市は、自治町内会長の声聞いて考えたいと答弁しました。



住まいの貧困の現実と アウトリーチ(手を差し伸べる)の構築を

武野議員

コロナ禍、新自由主義の弊害が顕在化しました。今年5月、「困難を抱える女性への支援に関する法律」が交付されました。支援団体では若年女性からの相談が急増してい

るといいます。家がないと仕事に就けない、住まいも借りられないという堂々巡りからの脱却のために、自治体が住宅の確保に責任を持つことが求められます。

セーフティネット住宅を増やしていくこと、家賃の補助、空き家の活用などを求めました。また、支援団体そのものへの支援も求めました。



議案の採決結果(定数26)

◎:全員賛成 △:一部反対 ×:全員反対

議案	会派の名称	結果	共産党 3人	自民党 2人	公明党 3人	夢みらい 4人	ヴィジョン 4人	アプテ 2人	かわせみ 2人	ネット 2人	無所属 4人
鎌倉市役所の位置を定める条例の改正(特別議決、議長を含む)		否決	×	◎	◎	◎	△	×	△	◎	△
保育士の配置基準の見直しを求める意見書		採択	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

深沢地域整備事業見直し

えっ! さらに59億円増!?

深沢地域整備事業の見直しで、さらに59億円の支出増になることがわかりました。これにより、事業地近隣の固定資産税や都市計画税がさらに上がる可能性があります。事業地付近の土地価格が上昇し、土地(保留地)が184億円(50億円増)で売れると試算したからです。見直し項目の積算根拠資料を要求しましたが、まだ示せないと答弁。土地(保留地)が50億円も高く売れる? 明確な根拠はありません。「取らぬ狸の皮算用」と言わざるを得ません。

新駅費用については今回言及がありませんが、現状の物価高の影響を受け、駅設置費用の上昇は当然あるでしょう。市の税金負担は4億円で済むはずもなく、相当の負担増になるのではないのでしょうか。

おもな見直し項目は → 収入の当ては?

- 電線地中化の路線拡大
- 調整池の規模拡大
- 県道腰越大船線(柏尾川沿いの一部)のかさ上げ
- 週休二日制の導入(人件費)
- 物価上昇等



市単独費1億円